

ご利用までの流れ

新たにはち丸ネットワークをご利用される医療機関・介護事業所等は、以下の手順によりお申込みください。

【施設登録申請方法】

はち丸ネットワークホームページより、施設登録申請を行う。

はち丸ネットワーク 検索

(もしくは右記の二次元コードを読み取り)



接続設定に関する案内メール(証明書、VPNソフト取得用No/パスワード通知)が届き次第、利用端末に接続設定をする。

利用開始



サービス提供体制



「はち丸ネットワーク」の運営

一般社団法人名古屋市医師会

連携

医療・介護・健診情報等の提供

名古屋市

運営

名古屋市はち丸在宅支援センター
「はち丸ネットワーク」受付窓口

契約

「はち丸ネットワーク」のサービス提供

中部テレコミュニケーション株式会社

【お問い合わせ先】〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-4-3 大信ビル2階

名古屋市はち丸在宅支援センター

電話:052-971-0874(代) 受付時間:平日 9時~17時(土日祝、年末年始を除く)

医療・介護連携ネットワーク

はち丸ネットワーク 参加のご案内

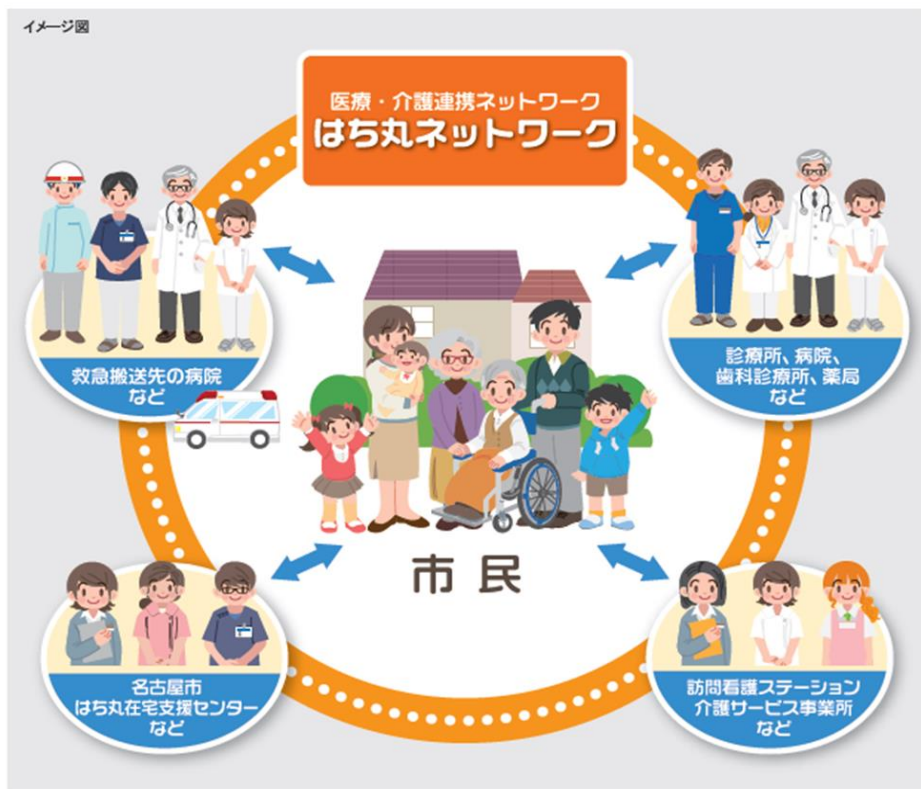
 一般社団法人 名古屋市医師会
Nagoya Medical Association



はち丸ネットワークとは

『はち丸ネットワーク』は、市民の同意に基づき、その人が受けた医療・介護・健診情報をネットワークを通じて医療機関・介護事業所等が閲覧・共有することにより、迅速で適切な医療・介護の提供へつなげることを支える仕組みです。

イメージ図



患者がはち丸ネットワークに登録すると…

○ もしもの救急搬送時に安心

緊急時に登録患者の医療・介護・健診情報等が、医療機関等に伝わることで、迅速で適切な治療につながります。

○ 医療・介護チーム内の迅速な情報共有につながる

多くの職種に支援してもらっている療養者の場合、連携しているメンバー間の迅速な情報共有により、適切な医療・介護の提供につながります。

はち丸ネットワーク参加施設での活用



○ 多職種間での情報共有

多くの職種で療養者を支援している場合、連携しているメンバー間での情報共有ができます。

○ 国民健康保険・介護保険情報の確認

登録患者が国民健康保険・後期高齢者医療制度、介護保険等を利用した場合、その情報を確認することができます。

「はち丸ネットワーク」で閲覧・共有できる患者情報

- 1 共通情報
氏名・生年月日・住所・性別・電話番号（緊急連絡先を含む）
- 2 医療情報（国保・後期高齢者医療分）※
医療機関名、傷病名、投薬、歯科医療機関名、薬局名、調剤（医薬品名）
- 3 介護情報（介護保険分）※
要介護度、認定期間、サービス事業所名
- 4 健診情報 ※
特定健診情報（国保分）、後期高齢者健康診査情報
- 5 その他、医療機関、介護事業所等が提供したデータ

※登録患者が、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険を利用した際の情報が閲覧可能。

患者がはち丸ネットワークに登録するためには…

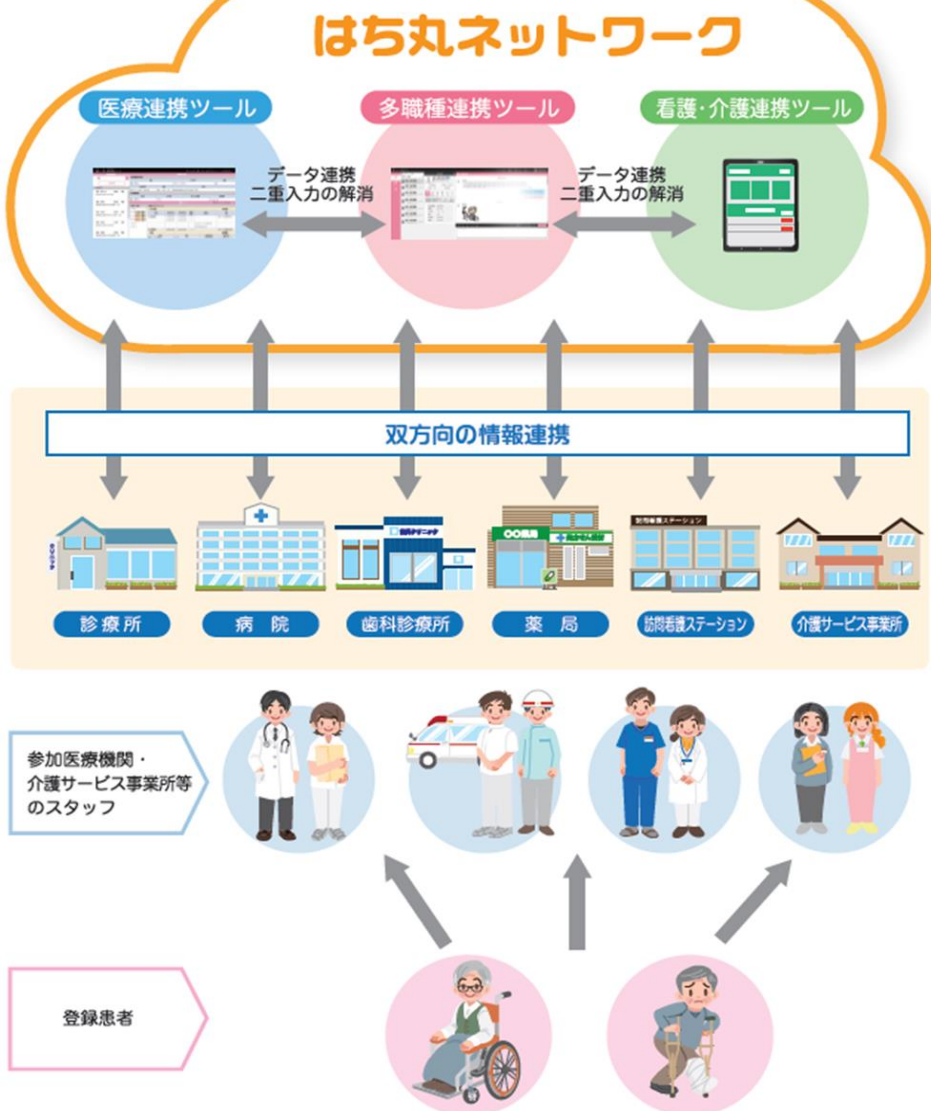


- 名古屋市はち丸在宅支援センターから「参加同意書」を取り寄せていただくか、「はち丸ネットワーク」ホームページより「参加同意書」をダウンロードしてください。
- はち丸ネットワーク参加施設より、登録を希望される患者への説明と同意取得をお願いします。
- 患者から「参加同意書」を受け取り、はち丸ネットワーク参加施設にて被保険者番号等の記載がされているかのご確認および受付施設記入欄をご記入ください。
- 「参加同意書」は、名古屋市はち丸在宅支援センターへご提出ください。
- 名古屋市はち丸在宅支援センターにて、「参加同意書」に基づき、はち丸ネットワークに患者を登録します。

はち丸ネットワークの概要

はち丸ネットワークは主に
3つの機能で成り立っています

サービス提供イメージ図



多職種連携ツール

多職種間において
情報を共有することが可能です。



【主な機能】

- 患者チャット機能
- 一般チャット機能
- スケジュール共有機能
- 在宅医療
介護連携サマリ作成
共有機能

詳細は
P5-P6
ご参照

医療連携ツール

～医療従事者向け～
複数の施設で医療情報を共有
することが可能です。



【主な機能】

- 診療情報 (SS-MIX2標準ストレージ)
ビューア機能
- 医療・介護・
健診情報ビューア

詳細は
P7-P8
ご参照

看護・介護連携ツール

～訪問看護・介護事業所向け～
多職種連携ツールへの二重入力を
解消することが可能です。



【主な機能】

- 訪問(巡回)介護、看護記録機能
- 記録紙作成支援機能
- 多職種連携ツール
データ連携機能

詳細は
P9-P10
ご参照

多職種連携ツール



「多職種連携ツール」は、登録患者を中心とした医療・介護・福祉関係者間で情報を共有することができます。

多職種連携ツールの特徴

- WEB版、スマホアプリ版で利用できる
- 基本的な操作が簡単
 - 文書を入力して「送信」するだけでチャット形式で投稿が可能。
 - 文字だけではなく、Word、Excel、PDF等の文書ファイルを始め、写真、動画等の共有も可能。
- 未読・既読が確認できる
投稿したチャットの未読・既読が確認できる。

■WEB版

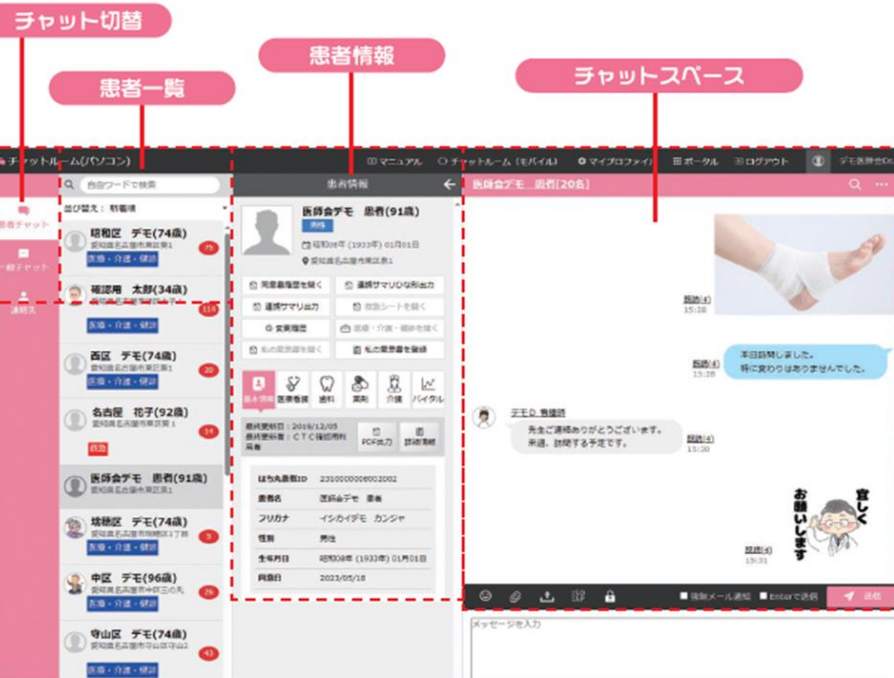


■スマホアプリ版



■WEB版

画面イメージ



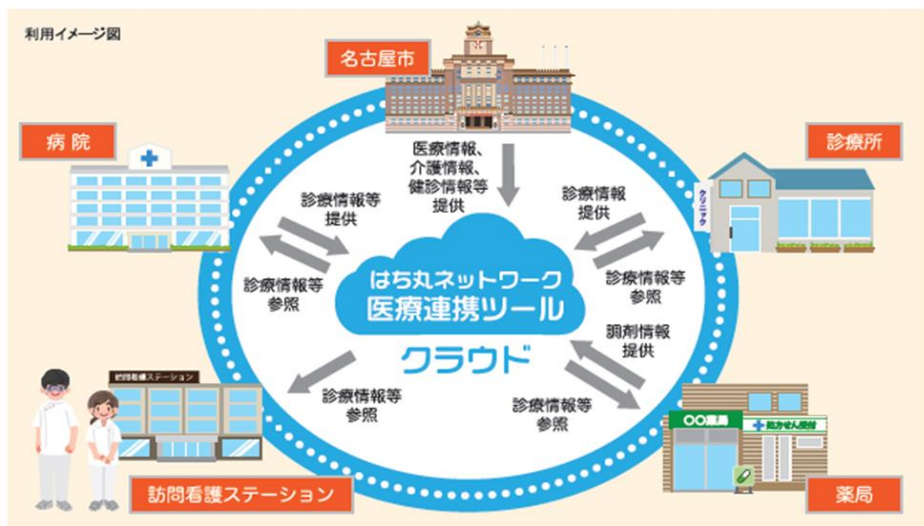
○ チャットについて

- 患者チャット以外に、グループチャット、個別チャットを作成できます。
- グループチャットは、地域や団体単位でチャットルームを作成し、情報共有や意見交換を行うことに活用できます。(要申請)
- 個別チャットは、はち丸ネットワークに参加している利用者間でチャットルームを作成し、情報共有や意見交換を行うことができます。

医療連携ツール



「医療連携ツール」は、医療機関・薬局等から連携される電子カルテデータや調剤データを医療関係機関間で情報共有することができます。



主な機能

診療情報ビューア

- 1 入退院歴
- 2 病名
- 3 処方歴 (オーダー・実施)
- 4 注射歴 (オーダー・実施)
- 5 検体検査 (オーダー・実施)
- 6 放射線検査 (オーダー・実施)
- 7 内視鏡検査 (オーダー・実施)
- 8 生理検査 (オーダー・実施)

※SS-MIX2で提供されたデータ

【カレンダービュー】



クリックすると表示します。

【表示例 (検体検査・結果)】

検査項目名	結果	参考範囲	グラフ表示
赤血球数	47	4.5 ~ 5.0	正常
HbA1c	5.9 %	4.3 ~ 5.8	正常
血糖値	107.5	70.0 ~ 100.0	正常
...

医療・介護・健診情報ビューア

医療、歯科、調剤のレセプト情報、介護情報、健診情報をビューアに表示します。

【表示例 (健診データ)】

健診 (年月)	健診結果データ	実施情報	実施年月日	実施機関	実施内容
2022年	健康診断	健康診断	2022年10月10日	〇〇健康センター	健康診断
2021年	健康診断	健康診断	2021年10月10日	〇〇健康センター	健康診断

【表示例 (介護データ)】

介護 (年月)	介護データ	介護情報	介護年月日	介護機関	介護内容
2022年	介護保険	介護保険	2022年10月10日	〇〇介護サービス	介護保険
2021年	介護保険	介護保険	2021年10月10日	〇〇介護サービス	介護保険

- 1 共通情報
氏名・生年月日・住所・性別・電話番号 (緊急連絡先を含む)
- 2 医療情報 (国保・後期高齢者医療分)
医療機関名、傷病名、投薬、歯科医療機関名、薬局名、調剤 (医薬品名)
- 3 介護情報 (介護保険分)
要介護度、認定期間、サービス事業所名
- 4 健診情報
特定健診情報 (国保分)、後期高齢者健康診査情報

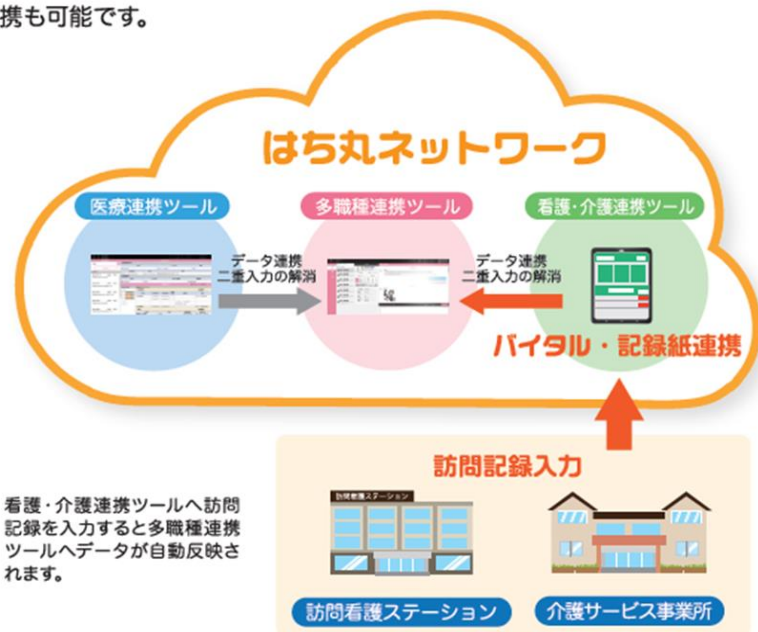
※登録患者が、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険を利用した際の情報が閲覧可能。



看護・介護連携ツール



「看護・介護連携ツール」は、訪問看護・介護事業所を対象とした多職種連携ツールへの二重入力の解消を目的としたツールです。また、事業所内での情報共有、請求基幹ソフトとの連携も可能です。



看護・介護連携ツールへ訪問記録を入力すると多職種連携ツールへデータが自動反映されます。

看護・介護連携ツールの主な機能

【WEB版】



- 利用者管理
- 提供票、報告書管理
- 職員管理
- 請求基幹ソフト連携
- 訪問記録管理

【スマホアプリ版】



- 訪問記録の入力
- 利用者情報の確認

活用イメージ



バイトル・記録紙データが多職種連携ツールへ自動連携されます。



経過観察



写真



帳簿類

